

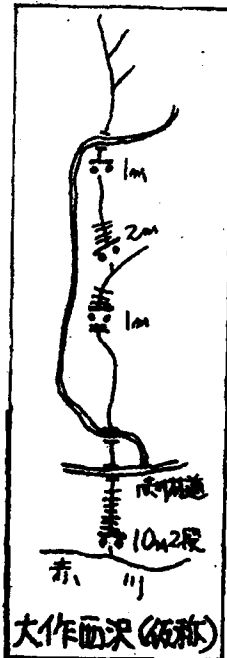
大作西沢(仮称)

1983年9月17日
奥)

9:05遊行開始。赤川に10mの滝をかけて合流している支沢であるし、その上しばらくはナメが続いているのをみれば、先にも何か1つくらいは見所があるのではないかとあわい期待をいだいたのだが、結局何も出てこなかった。

9:25沢が細い溝状になり、ブッシュもかぶさってきたので遊行終了とする。
(記)

[タイム] 出合(9:05)→遊行終了(9:25)



上黒森沢(仮称)

1983年7月30日
奥)

円部地区の対岸に、黒森山に突き上げる2本の小沢がある。名前がはっきりしないので、ここでは上黒森沢及び下黒森沢と呼んでおくことにする。沢の距離は短いですが、かなりの高度差があるので、滝があるのではないかと、期待をもって入谷する。

12:50遊行開始。歩きはじめるとすぐゴルジュ帯となり、滝がかかって険悪な感じとなる。まず最初は5m。斜瀑でフリクションがよくきき、直登できる。続いて4m。右岸にホールド多く、これも直登である。小滝を越えて5m 2段の滝。ここは左岸をシャワーで突破する。あとは小滝となってゴルジュ帯は終わった。時間にして20分とかからなかったが、結構楽しい所であった。

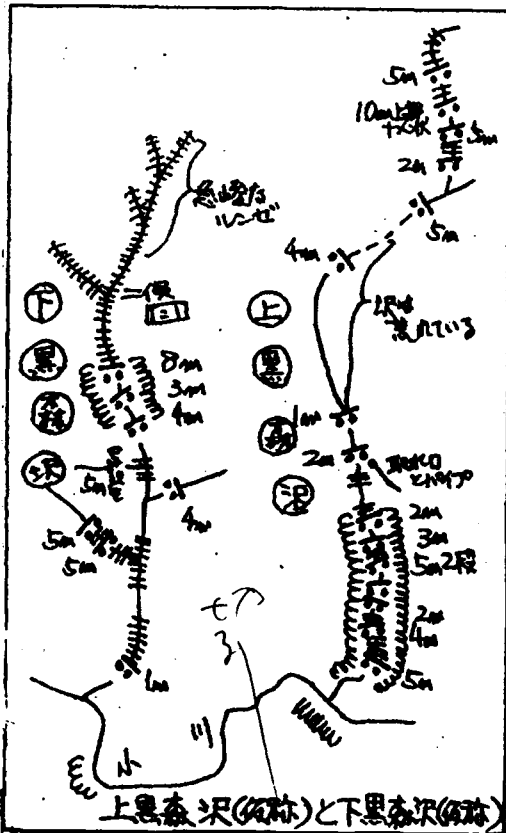
この先は荒れた平凡な沢筋が続く。土砂が至る所に押し出されてきている。途中溜沢となる部分もあり、退屈になってきた頃、ようやく岩質が変わって滝が出てきた。5m滝。直登して上に出るとすぐに二俣。左俣へルートをとる。

あとはナメと小滝の連続である。5mクラスが2本と、10mクラスが1本。いずれも直登して越える。もう源流帯で水量も極少となってきて、黒森山北面に広がる伐採地へ出る。遊行終了13:50。

[タイム] 出合(12:50)→遊行終了(13:50)

下黒森沢(仮称)

1983年7月30日



黒森山東方の尾根は、北側斜面がいやに切り立っている。樹林帯でなければとても下ることができないような急傾斜である。

14:45下降を開始する。すぐ左手が急峻なルンゼとなった。あまり急すぎてここは下れない。ひたすら樹林帯を下る。やがて右手もルンゼとなり、14:55左右のルンゼの合流点へと出た。

を出して懸垂下降にて沢に下る。上部に比べるといくらか傾斜はゆるくなってきているとはいえ、まだかなりの急傾斜である。この先も2度、右岸の樹林帯に逃げ込んで、懸垂下降にて沢に戻るということを繰り返す必要があった。

15:20二俣着。左俣の方は右俣に比べると傾斜はゆるくなっているようだ。二俣のすぐ下に滝が3つ続く。最初の8mは、シャワーを浴びながらクライミングダウン。あとの2つはそれほど苦勞することなく下れた。

あとは困難な所もないまま小川本流へ出る。15:45。 (記 c)

【タイム】 下降開始(14:45)→下降終了(15:45)

中野沢(仮称)

1983年11月5日

中野第2トンネル出口より右に入った所の林道脇に車を止めて少し歩くと、右に曲がる所より左に入る道がある。この道はすぐ二分する。まっすぐの道はこわれて渡るのは危険な状態の橋に突きあたる。左の道をたどり、丸太の橋を渡って沢ぞい